

平素から、JR芸備線をはじめとした地域公共交通に関しまして、ご支援いただいておりますことに心からお礼申し上げます。

さて、芸備線は、沿線住民の日常生活に欠かせない移動手段であると同時に、地域間を結ぶことによる観光振興や地域経済の活性化に大きく寄与する幹線交通路線として、多くの方に利用され、親しまれている重要な路線です。

しかしながら、昨今の人口減少やモータリゼーションの進行などを理由に、中山間地域の鉄道においては利用者の減少が進んでおり、さらに新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大きく減少するなど、鉄道事業の経営は大変厳しい経営状況にあると認識しています。

これらの影響を受け、令和3年3月及び10月のダイヤ改正により、減便や最終列車の繰り上げなどが実施されており、利便性低下によるさらなる利用者の減少や鉄道離れの進行など、負のスパイラルに陥ることが危惧されます。

公共交通網の大切な骨格である芸備線の存続を願う沿線4市で構成する芸備線対策協議会においては、令和3年5月、芸備線の存続及び沿線地域の活性化に向け、沿線自治体及び沿線住民、西日本旅客鉄道株式会社が一丸となった取組の必要性和、県内のJR線沿線自治体との連携を強化しながら、JR線を活用した循環型の経済圏の構築を目指すことを確認し、西日本旅客鉄道株式会社に対して沿線自治体及び沿線住民によるJR線を活用した利用促進策の実施について、協力を要請したところです。

このような状況の中、令和3年6月には、西日本旅客鉄道株式会社から、利用が低迷する芸備線の一部区間について、関係地方公共団体に対し、今後の利用促進等を検討する場への参加を求める申し入れが行われました。

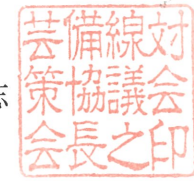
貴職におかれましては、鉄道事業の継続と路線の存続に向け、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

鉄道は、地域活性化や観光振興をはじめとした沿線地域のまちづくりのために欠くことのできない大切な資源であり、将来にわたって、官民一体となって守り生かすべきものであると考えます。地方創生の観点からも、併せて貴職のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、経営が悪化している鉄道事業者に対し、安定的な経営が維持できるような積極的な支援を講じていただきたい。
- 2 鉄道事業者が運行計画の見直しを検討する際には、沿線地域へ与える影響を考慮し、地元との対話を重視するなど、鉄道事業者に丁寧な対応を求めているいただきたい。
- 3 with コロナにおける地方再生を見据え、鉄道ネットワークを活用した利用促進策の実施と、循環型の経済圏の構築に向け、ご協力いただきたい。

芸備線対策協議会

会長 三次市長 福岡誠志



沿線自治体

三次市長 福岡誠志



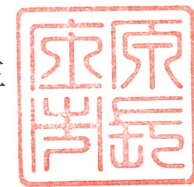
広島市長 松井一實



安芸高田市長 石丸伸二



庄原市長 木山耕三



**芸備線の存続に向けた
支援の実施等に係る要望書**



**令和3年11月
芸備線対策協議会**